

IV 財務の概要

(1) 2025年度決算概要

現在、本学は、2032年以降を見据えた2050年のあるべき姿として「Waseda Vision 150 and Beyond」を掲げ、「世界人類に貢献する大学」の実現を目指しています。現在、中長期計画「Waseda Vision 150」のSTAGE3（2023～2027年度）が進行中で、これら施策の検証と改善を可能とする財政的基盤を確保し、不断の改革を実行しています。

<財務目標>

- ・昨今の物価上昇・建設費の高騰を踏まえ、2025年度から「一般財源での経常収支差額30億円、これを確保するための経常収支差額の目安を事業活動収入の6%とする」に財務目標を変更いたしました。この目標は、施設設備を維持する財源を確保し、安定的な財務基盤を構築するため、毎年度継続的に確保する必要がある額として設定しているものです。
- ・2025年度は、好調な金融市場の影響により、受取利息・配当金が想定を超えて大幅に増加したことが主な要因となり、経常収支差額が80億円、一般財源収支差額が39億円と、財務目標を達成することができました。

①貸借対照表

2025年度末の資産の部合計は4,357億円で、その内訳は、固定資産3,994億円、流動資産362億円でした。このうち、運用資産残高（現金預金、有価証券、特定資産の合計額）は1,676億円で、前年度末から67億円増加しました。

一方、負債の部合計は644億円で、その内訳は、固定負債376億円、流動負債268億円でした。このうち、借入金残高（長期借入金、短期借入金の合計額）は105億円で、前年度末から47億円増加しました。

また、基本金は4,430億円、繰越収支差額は△717億円となり、純資産の部合計は3,713億円で、前年度末から90億円増加しました。

1) 貸借対照表の状況と経年比較

資産の部

(単位：百万円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固定資産	368,277	371,515	376,663	383,529	399,441
有形固定資産	236,993	233,084	233,660	237,104	244,353
特定資産	54,963	56,000	57,162	58,254	58,833
その他の固定資産	76,321	82,431	85,840	88,171	96,255
流動資産	31,975	34,245	35,766	37,003	36,218
資産の部の合計	400,252	405,761	412,429	420,532	435,659

負債の部・純資産の部

(単位：百万円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固定負債	32,162	30,165	29,586	32,747	37,593
流動負債	25,750	27,645	26,387	25,545	26,780
負債の部の計	57,913	57,809	55,974	58,292	64,373

基本金	419,293	421,569	430,517	435,798	442,971
繰越収支差額	△ 76,954	△ 73,618	△ 74,062	△ 73,558	△ 71,685
純資産の部合計	342,339	347,952	356,455	362,240	371,286

負債及び純資産の部合計	400,252	405,761	412,429	420,532	435,659
-------------	---------	---------	---------	---------	---------

2) 財務比率の経年変化

貸借対照表関係比率の推移

財務比率		算式 (×100)	評価	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	全国平均 (%)
1	固定資産構成比率▼	固定資産 総資産	↗	92.0	91.6	91.3	91.2	91.7	86.1
2	流動資産構成比率△	流動資産 総資産	↗	8.0	8.4	8.7	8.8	8.3	13.9
3	固定負債構成比率▼	固定負債 総負債 + 純資産	↘	8.0	7.4	7.2	7.8	8.6	6.4
4	流動負債構成比率▼	流動負債 総負債 + 純資産	↗	6.4	6.8	6.4	6.1	6.1	5.2
5	純資産構成比率△	純資産 総負債 + 純資産	↘	85.5	85.8	86.4	86.1	85.2	88.4
6	固定比率▼	固定資産 純資産	—	107.6	106.8	105.7	105.9	107.6	97.4
7	固定長期適合率▼	固定資産 純資産 + 固定負債	↗	98.3	98.3	97.6	97.1	97.7	90.9
8	流動比率△	流動資産 流動負債	↗	124.2	123.9	135.5	144.9	135.2	265.6
9	内部留保資産比率△	運用資産 - 総負債 総資産	↗	21.2	23.2	24.0	24.4	23.7	28.5
10	積立率△	運用資産 要積立額	↗	67.9	70.0	69.2	70.4	71.6	74.9
11	総負債比率▼	総負債 総資産	↘	14.5	14.2	13.6	13.9	14.8	11.6
12	運用資産余裕比率△	運用資産 - 外部負債 経常支出	↗	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	2.0
13	前受金保有率△	現金預金 前受金	↘	241.3	253.5	227.2	250.4	234.9	377.0
14	基本金比率△	基本金 基本金用組入額	↘	98.5	98.5	98.9	98.3	97.3	97.6

(注) 財務比率項目の印は、△ = 高い値がよい ▼ = 低い値がよい を示している。

評価欄の矢印については、上向き (↗) は本学が2021年度と2025年度を比較して改善傾向にあることを示し、下向き (↘) は悪化傾向を示している。横棒 (—) はどちらともいえないものを示している。

②事業活動収支計算書

収入面では、最も大きな構成比を占める学生生徒等納付金が、2024年度に実施した学費改定の学年進行および学生数の増加等により、前年度比14億円増の691億円となりました。加えて、受託事業の堅調な拡大に伴い、付随事業収入も4億円の増収となりました。一方、2025年度から創立150周年記念事業募金が始されたものの、寄付金は前年度比3億円増にとどまりました。また、経常費等補助金は前年度比で29億円増となりましたが、国の修学支援新制度が主な要因であり、新制度による増加分は奨学費として支出計上されています。これらを踏まえた教育活動収入計は前年度比50億円増の1,101億円となりました。

支出面では、人件費が、ベースアップの実施および学校法人会計基準の改正に伴う法定福利費の未払金計上の影響により、前年度比10億円増加し、507億円となりました。また、教育研究経費は、前述の国の修学支援新制度による奨学費の増加および物価上昇の影響を受け、前年度比30億円増の524億円となりました。一方、管理経費は前年度比2億円減の43億円となりました。

以上の結果、教育活動収支差額は前年度比11億円増の27億円となりました。

教育活動外収支は、好調な金融市場の影響を受け、受取利息・配当金が前年度比18億円増の50億円となり、教育活動外収支差額も同様に18億円増の54億円となりました。

これらを総合した経常収支差額は、前年度比29億円増の80億円となりました。

特別収支は、施設設備に係る寄付金および補助金等の臨時的な収支を計上し、特別収支差額は前年度比3億円増の10億円となりました。

以上により、基本金組入前当年度収支差額は前年度比33億円増の90億円となりました。

1) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

区分	科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	64,263	65,139	66,286	67,696	69,113
		手数料	3,767	3,631	3,608	3,787	3,790
		寄付金	3,722	3,782	4,361	3,296	3,579
		経常費等補助金	12,056	12,354	13,232	12,466	15,334
		付随事業収入	9,189	9,714	11,122	12,007	12,418
		雑収入	4,515	4,815	5,324	5,784	5,827
		教育活動収入計	97,512	99,436	103,933	105,036	110,061
	支出	人件費	48,032	48,187	49,134	49,627	50,672
		教育研究経費	42,137	46,004	47,089	49,374	52,410
		管理経費	4,050	4,207	4,353	4,466	4,293
		徴収不能額等	27	22	27	40	25
		教育活動支出計	94,247	98,420	100,603	103,508	107,401
	教育活動収支差額		3,266	1,015	3,330	1,528	2,661
	外収支	教育活動外収入計	3,706	5,063	5,313	4,425	6,222
教育活動外支出計		887	838	868	836	844	
教育活動外収支差額		2,818	4,224	4,445	3,588	5,378	
経常収支差額		6,084	5,240	7,775	5,116	8,038	
収支別	特別収入計	1,278	714	761	900	1,100	
	特別支出計	328	341	33	231	92	
	特別収支差額	950	373	728	669	1,008	
基本金組入前当年度収支差額		7,034	5,612	8,503	5,785	9,047	
(参考)							
事業活動収入計		102,496	105,212	110,006	110,360	117,383	
事業活動支出計		95,462	99,600	101,503	104,576	108,337	

2) 財務比率の経年比較

事業活動収支計算書関係比率の推移

(%)

財務比率	算式(×100)	評価	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	全国平均
1 人件費比率▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	↗	47.5	46.1	45.0	45.3	43.6	50.9
2 人件費依存率▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	↗	74.7	74.0	74.1	73.3	73.3	70.7
3 教育研究経費比率△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	↗	41.6	44.0	43.1	45.1	45.1	37.3
4 管理経費比率▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	↗	4.0	4.0	4.0	4.1	3.7	8.9
5 学生生徒等納付金費比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	—	63.5	62.3	60.7	61.8	59.4	72.0
6 寄付金比率△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	↘	4.5	4.1	4.6	3.7	3.7	2.0
7 補助金比率△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	↗	12.1	11.9	12.1	11.3	13.1	15.0
8 事業活動収支差額比率△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	↗	6.9	5.3	7.7	5.2	7.7	3.3
9 経常費収支差額比率△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	↗	6.0	5.0	7.1	4.7	6.9	2.7
10 教育活動収支差額比率△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	↘	3.3	1.0	3.2	1.5	2.4	0.3

(注) 財務比率項目の印は、△=高い値がよい ▼=低い値がよい を示している。

評価欄の矢印については、上向き(↗)は本学が2021年度と2025年度を比較して改善傾向にあることを示し、下向き(↘)は悪化傾向を示している。横棒(—)はどちらともいえないものを示している。

③資金収支計算書

1) 資金収支計算書の状況と経年比較

収入の部

(単位：百万円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学生生徒等納付金収入	64,262	65,139	66,286	67,696	69,113
手数料収入	3,767	3,631	3,608	3,787	3,790
寄付金収入	3,435	3,564	4,348	3,384	3,756
補助金収入	12,366	12,489	13,298	12,490	15,429
資産売却収入	7,055	6,883	8,826	52,746	59,715
付随事業・収益事業収入	10,435	10,935	12,364	13,253	13,639
受取利息・配当金収入	2,412	3,798	4,027	3,170	4,956
雑収入	4,627	4,951	5,407	5,900	6,120
借入金等収入	0	0	0	3,400	5,000
前受金収入	10,777	11,006	11,672	11,736	11,816
その他の収入	6,381	10,162	6,246	9,790	15,770
資金収入調整勘定	▲ 13,509	▲ 14,228	▲ 17,617	▲ 16,646	▲ 17,911
前年度繰越支払資金	28,068	27,338	29,138	27,466	30,214
収入の部合計	140,083	145,673	147,602	198,173	221,407

支出の部

(単位：百万円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
人件費支出	48,121	48,324	49,365	49,482	50,498
教育研究経費支出	31,599	35,394	37,039	39,500	42,511
管理経費支出	4,061	4,195	4,429	4,524	4,251
借入金等利息支出	32	28	20	13	78
借入金等返済支出	549	548	1,836	289	289
施設関係支出	2,978	3,567	6,446	9,540	13,345
設備関係支出	3,231	2,704	3,862	3,623	3,753
資産運用支出	21,671	21,700	16,741	59,878	79,231
その他の支出	9,650	9,793	10,253	10,163	9,450
資金支出調整勘定	▲ 9,152	▲ 9,722	▲ 9,855	▲ 9,053	▲ 10,322
翌年度繰越支払資金	27,338	29,138	27,466	30,214	28,323
支出の部合計	140,083	145,673	147,602	198,173	221,407

2) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

活動区分資金収支計算書

(単位：百万円)

科目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
教育活動による資金収支	教育活動資金収入計	97,226	99,218	103,716	104,859	109,849
	教育活動資金支出計	83,215	87,404	90,287	93,000	96,820
	差引	14,010	11,813	13,429	11,858	13,028
	調整勘定等	348	▲ 195	364	▲ 357	1,226
	教育活動資金収支差額	14,359	11,618	13,793	11,501	14,254
施設整備等活動による資金収支	施設整備等活動資金収入計	310	135	269	290	485
	施設整備等活動資金支出計	6,272	6,333	10,373	13,208	17,157
	差引	▲ 5,961	▲ 6,198	▲ 10,103	▲ 12,918	▲ 16,672
	調整勘定等	▲ 806	729	212	▲ 578	21
	施設整備等活動資金収支差額	▲ 6,768	▲ 5,468	▲ 9,891	▲ 13,496	▲ 16,651
小計（教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額）						
	7,590	6,149	3,902	▲ 1,995	▲ 2,397	
その他の活動による資金収支	その他の活動資金収入計	14,512	19,060	17,094	64,000	82,058
	その他の活動資金支出計	22,788	22,787	19,412	60,669	80,173
	差引	▲ 8,276	▲ 3,727	▲ 2,318	3,331	1,885
	調整勘定等	▲ 44	▲ 622	▲ 3,256	1,411	▲ 1,379
	その他の活動資金収支差額	▲ 8,320	▲ 4,349	▲ 5,574	4,742	506
支払資金の増減額（小計 + その他の活動資金収支差額）	▲ 730	1,800	▲ 1,672	2,748	▲ 1,891	
前年度繰越支払資金	28,068	27,338	29,138	27,466	30,214	
翌年度繰越支払資金	27,338	29,138	27,466	30,214	28,323	

3) 財務比率の経年比較

資金収支計算書関係比率の推移

(%)

財務比率	算式 (×100)	評価	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	全国平均
	教育活動資金収支差額 教育活動資金収入計							
1 教育活動資金収支差額比率△		↘	14.8	11.7	13.3	11.0	13.0	11.4

(注) 財務比率項目の印は、△=高い値がよい ▼=低い値がよい を示している。

評価欄の矢印については、上向き (↗) は本学が2021年度と2025年度を比較して改善傾向にあることを示し、下向き (↘) は悪化傾向を示している。横棒 (―) はどちらともいえないものを示している。

(2) その他

①資産運用の状況

本学の目指す教育・研究施策の充実・発展に必要な財政基盤の安定・強化を図るため、中長期的な資金確保の有力な一助とすることを目的として、資金運用収入による財政基盤の強化を図っています。

理事会によって決定された投資権限規定（有価証券の運用に関する細則）や「資金運用の基本方針」に従い、財務担当理事の下、豊富な運用経験を有する外部採用人材も活用し、専門的な知見に基づき、運用を行っています。また、「投資委員会」を財務担当理事の諮問機関として設置し、外部委員に資金運用に知見がある学識経験者、実務経験者を招聘し、ポートフォリオの策定、投資実績の評価、リスク管理等について四半期毎、または必要に応じてレビューや各種検討を行っています。

元本確保を重視すべき基本金の資金運用と並行して、2018年に Waseda Vision 150 を推進していくための財政基盤をさらに強化していくことを目的とした「Waseda Endowment」を新設し、限定された一部の資金についてミドルハイリスク・ミドルハイリターンの運用を長期的安定的に展開することで、従来以上の高収益を目指しています。

(単位：百万円)

運用資産種別	金額
特定資産	58,833
有価証券	80,434
現金預金	28,323
合計	167,590

受取利息・配当金
4,956

②学校債の状況

学校債の発行はありません。

③寄付金の状況

(単位：百万円)

寄付種別	金額
指定寄付金	1,729
早稲田大学応援基金寄付金	309
創立 150 周年記念事業募金	515
その他の特別寄付金	906
施設設備寄付金	297
現物寄付	571
合計	4,327

④補助金の状況

(単位：百万円)

補助種別	金額
経常費補助（一般補助＋特別補助）	8,999
研究事業関係補助金	1,420
授業料等減免事業補助金（国の修学支援制度）	3,423
その他の国庫補助金	145
地方公共団体補助金	1,348
施設設備補助金	94
合計	15,429

⑤収益事業の状況

本学では学校法人早稲田大学校規（寄附行為）において、「その収益を学校の経営に充てるため、不動産賃貸業を行なう。」と収益事業を規定し、不動産賃貸業によって生じた利益を大学会計に繰り入れて、教育研究活動に充当しています。2025年度は、大規模修繕工事の実施準備のため入居率を下げたことにより当期純損失を計上しました。1995年度以降、累計で約8.8億円を大学会計に繰り入れています。

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

毎年、予算編成の段階から財務指標を定め、運用収入増や、経費の削減を行って捻出した財源、2024年度新入生から段階的に実施している学費改定で増加した収入により新規事業を展開することで、財務体質を改善しながら教育研究を充実させています。施設設備面については、新しい教育を支える各キャンパス整備事業を自己資金によって推進する余裕を確保したうえで、借入金も活用しています。

これらの施策の結果、財務比率は、「純資産構成比率」80%以上を維持しながら、「教育研究経費比率」は継続的に上昇しています。安定した財政運営が行われ、教育研究を遂行するための財政的基盤がほぼ確立されており、今後も条件によっては借入金を活用していく積極的な姿勢を持ちつつ、高い純資産構成比率を安定的に保っていきます。

このほか、事業計画と予算を一体で審議する事業・財務計画会議の設置により、事業の優先順位付け等について実態に即した検討ができるようになりました。それらの成果として、物価上昇で増加する経常経費や、昨今の社会情勢を踏まえたベースアップによる人件費の増加への適切な対応を収入増によって実現し、他方で、複数キャンパスでの建物建替で増加する減価償却費や、教職員数増を始めとする Waseda Vision 150 に基づく各種成長施策への戦略的投資等を事業の優先順位付けにより選択的に実行できており、足下では教育研究活動の維持・拡大と財務体質の維持の両立を実現しています。

一方、近年インフレが進展する中で、教育研究環境のさらなる向上や、各補助金事業終了後の自己財源による施策実施を安定的に継続していくためには、これまでの経費削減とゼロシーリングを組み合わせた予算編成の見直しが必要です。今後の予算編成にあたっては、継続すると見込まれる物価・人件費の上昇、建物建替に伴う減価償却費の増大、DXの影響等を慎重に考慮し、その対応に必要な財源の確保を目指します。

収入面では、寄付金、外部資金のさらなる獲得や、運用収入の増加等、近年着実に成果を挙げている多元的な収入増加策を引き続き実施します。また、適切な学費改定の検討を進めていきます。

こうした収入増施策を実施することにより、自由度の高い資金を確保し続け、一層の教育研究活動を推進します。